

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		スーパー（店長）	・客単価が下げ止まっており、今後は前年より少しずつ上昇していく。また、来客数も増えているため売上は増加する。 ・超特価品など本当に安い値段でしか客は動いていない	
		衣料品専門店（経営者）	・昨年秋ごろから来客数や商店街の通行量が大幅に減少しているが、少し暖かくなれば多少なりとも回復する。客の懐具合は不景気感が深く浸透しているため、これ以上は悪くならない。	
			住宅販売会社（従業員）	・2月下旬の展示会は例年に比べて来場者数が増加し、1日に60組と多い日もあった。この効果が2、3か月後に期待できる。
	変わらない		商店街（代表者）	・相変わらず低迷状態である。当店が入居するショッピングセンターでは今年既に飲食店と鞆屋の2店舗が店じまいをしている。
			一般小売店〔精肉〕（経営者）	・食肉は前年に比べて動きが良い。この現状が当分変わらない。
			百貨店（売場主任）	・客の購買動向からみて、紳士服では着数は少ないものの良い商品が伸びている。また、百貨店ではフレッシュスーツなどが年々減少している。
			百貨店（営業担当）	・2月だけを見ると、多少上向き傾向であるが、全体を通してみると、春のファッションの中でもヒットアイテムが見当たらないため、厳しい状況が続く。
			百貨店（営業担当）	・婦人服について上に着る物は冬からの流行が継続しており、またスカート、パンツなどはヒット商品が出ていないため、今のままの状態が続く。
			コンビニ（エリア担当）	・来客数も1人当たり買上点数も、ほぼ前年並みになっている。
			家電量販店（経営者）	・家電全体の盛り上がりはパソコンの復活次第である
			乗用車販売店（営業担当）	・単価が低下している。また、来場者数が春にもかかわらず、あまり増加していない。
		住関連専門店（店長）	・売上は伸びていないが、客は単価に厳しいものの需要は底堅い。	
		スナック（経営者）	・花見や連休などで本来盛り上がるシーズンに入るが、4月の統一地方選挙の影響で期待できない。また、中小企業の資金繰りの悪化など暗いニュースがささやかれており、雲行きは非常に悪い。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・4月は昨年の団体宿泊利用が入らず、一般宴会の受注状況もあまり良くない。また、5月は宿泊状況がやや好調であるが、一般宴会は大型の学会を受注しているものの前年並みとなる見通しである。婚礼宴会は前年並みで、全体としては変わらない。		
	通信会社（営業担当）	・携帯電話の契約数の伸びが低下するうえ、解約数の増加傾向が続き、今後の厳しさが目にみえる。		
	住宅販売会社（従業員）	・例年はキャンペーンを実施すれば、来場者数が増加し活気が出たが、今はそのような動きがみられない。		
やや悪くなる		百貨店（営業担当）	・デフレ傾向で客単価は下がっている。また、新しいアイテム、目新しいトレンド商材は雑貨、衣料ともにほとんど見当たらない。	
		スーパー（店長）	・客の消費動向は買い控え感が強く、無駄なものは一切買わないという姿勢がますます顕著になる。	
		家電量販店（店長）	・進入学に伴う独り暮らし用の家電製品の下見客や実売が良くない。将来に対する不安が原因と思われる。	
		乗用車販売店（経営者）	・ホットな客が極端に減少し、回復の兆しがみられない。	
		乗用車販売店（経理担当）	・3か月先までは新型車の投入がなく、現行の車種で対応せざるを得ないため、じり貧状態となる。	
		高級レストラン（スタッフ）	・当社では最も季節指数の高い3、4月の歓送迎シーズンに向かうが、県庁の郊外移転による影響が大きく、前年の受注ベースには届かない。	
		観光型旅館（スタッフ）	・宿泊の予約保有数に回復傾向がみられない。	

		都市型ホテル（スタッフ）	・セールス強化による催事企画が好調で、また宴会部門の予約状況も順調であるが、レストランの予約は悪い。また、婚礼の受注も他の新施設の影響を受けて大幅に落ち込んでおり、売上の減少が予想される。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行は治安上の問題から行き先が限定され、また国内旅行は日帰りに集中している。
		タクシー運転手	・朝夕の通勤時間帯のタクシー利用が少なく、また日中の駅、病院、ホテルなどの待機場所での回転も悪い。流しの場合でも客を乗せるのが難しい。
		タクシー運転手	・駅前商店街は「シャッターの街」といわれるほど、シャッターが長時間下りており、人出も少ない。また、いつも多忙な金、土曜日の夜のタクシー利用が減少してきており、先行きが不安である。
		テーマパーク（経営者）	・種々の企画でなんとか持ちこたえているが、団体客の減少は依然続く。
		住宅販売会社（従業員）	・厳しいなかで唯一の明るい材料は住宅資金の生前贈与非課税枠の3500万円への拡大である。枠をフルに使う人は少ないが、1500万円程度の話はよくある。まだ具体的な例はないが、親子の同居問題を含めて検討中の人々が浮上してくる。
	悪くなる	観光型旅館（経営者）	・4月の統一地方選挙を控えて、3～4月の予約が伸び悩んでいる。
		テーマパーク（職員）	・春にかけて毎月の予約数が前年に比べて1割超の減少となっている。また、周辺の観光施設や宿泊施設に聞いても、3、4月の動きが特に鈍い。4月の統一地方選挙の影響もあるが、それよりは北陸自体への観光客の動きが昨年の大型イベントの反動もあって激減し
		競輪場（職員）	・入場者の1人が「以前は月に3、4回来ていたが、今は1回しか来ない。また、車券の購入金額も極端に少なくなった」と話している。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経理担当）	・現在の受注品だけでなく、今後の新製品の受注も好調である。
		通信業（営業担当）	・製造業を中心にそろそろ設備投資をしようという動きがみられる。金融業では信頼性と経済性の向上を目指し、システムの再構築に動き出した感じがする。
		不動産業（経営者）	・この先の予約、契約状況からみて見通しはやや明る
	変わらない	繊維工業（経営者）	・イラク情勢など不安材料があり、厳しい受注状況が続いている。
		輸送業（配車担当）	・年度末ということに加えて、新製品を出した会社もあるため、荷量は徐々に増加するが、例年と比較して低調な状況が続く。また、最近は月末集中型で、月初にはメーカーなどの荷量がほとんどないというパター
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・以前と比較して新聞購読を中止する動きは少なくなっているが、中止からの復活は非常に難しい。個人、企業ともに切迫した経済状況が続いている。
		司法書士	・不動産取引の内容、会社の営業状況ともに、良くなる要素がみられない。
	やや悪くなる	化学工業（営業担当）	・価格競争に巻き込まれ、販売価格の引下げをせざるを得ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・例年4～6月は受注の少ない時期であるが、この季節要因を差し引いても受注が伸び悩んでいる。
	精密機械器具製造業（経営者）	・同業他社の生産状況を聞くと、3～4か月先の受注が埋まらない先が非常に多い。	
	悪くなる	建設業（経営者）	・年度末の3月の仕事量はそこそこであるが、新年度の4月になれば工事はぱったり止まる。国、県、市とも工事予算は削減されるため、4～6月には各社とも
		建設業（総務担当）	・依然として工事物件の少ない北陸3県の競争が激烈で、見積、入札価格が採算割れのケースが散見され、回復のめどがつかない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人の動きはほぼ前年の100%で推移しており、これから徐々に上向く。
		民間職業紹介機関（経営者）	・一部大手の機械、薬品などの製造会社が好調な動きをみせており、今後求人の増加が期待できる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・受注内容としては、レベルの高い人や幅広い経験によりいかなる仕事でもこなせる人材が求められているが、このようなスタッフを集めるのはなかなか難し

	職業安定所（職員）	・新規求人数は全体として増加傾向にあるものの、業種間にバラツキがあり、またすぐに取り消されるケースも多く、有効求人数の伸びは期待できない。
	職業安定所（職員）	・雇用保険受給者が減少傾向にあるなかで、有効求職者の伸び率も鈍ってきたが、今月も20～30人規模のリストラ情報が入ってきている。
	学校〔大学〕（就職担当）	・現状からみて、新規学卒者の採用枠拡大は期待薄である。厳選採用がますます強まる。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-